

【ニュース】

則竹凱成選手

第 62 回全国中学校 水泳競技大会

男子 400m メドレーリレー（自由形）にて出場権獲得!!



先日行われた愛知県中学校総合体育大会「競泳競技」において、春日井中部中学校チームが、男子 400m メドレーリレーの全国中学出場制限タイムを突破。1toSWIM 選手コース所属の則竹凱成選手は、リレーメンバーの一員として、アンカーの自由形を泳ぎ、チームの全国中学出場に見事貢献しました。

全国中学出場のためには、予め決められた「標準タイム」を、県大会当日のレースで突破するしかありません。元々4人で狙っていたタイムだったそうですが、予選では突破ならず・・・緊張がさらに高まる中でのラストチャンスとなった決勝レースでしたが、4人がそれぞれ予選よりタイムを上げる素晴らしいレースでした。

則竹選手にとっては、経験の少ないリレー競技でしたが、個人レースでは見たことがないくらいの必死の泳ぎで前半から飛ばし、ラスト25mはこれまた見たことがないバテバテの様子でしたが、やはりこれがリレーの魅力、「他の3人のためにも」という思いがあったのでしょうか、諦めずもがいてもがいてゴール!!メンバー全員のガッツポーズは、とても素敵な光景でした。

個人種目が多い競泳ですが、普段の練習はもちろん、こうしたリレーでは、周りのメンバーが大きく影響し、選手の成長に繋がるケースが見られます。則竹選手も、突破翌日の練習では、早速頑張りのレベルが上がっていたような・・・。1toSWIMの選手コースも、どんどんメンバーを増やし、リレー種目へのエントリーをしたい、リレーでしか味わうことのできない緊張感と仲間との連携を知ってほしい!!そう改めて感じたレースでした。

【お知らせ】

全国中学が開催される宮城県では、3月に震度を観測する大きな地震が発生しました。競泳の会場となる宮城県総合プールも、屋根が崩落するなどの被害があり、全国中学の開催までに復旧ができなかったことから、大会史上初めて短水路（25mプール）での開催となることが発表されました。

会場の規模が小さくなることから、残念ながらリレー競技は実施されないこととなりましたが、「出場権獲得者」という栄誉は何ら変わりません。まだ1年生の則竹選手が、来年以降はチームを引っ張る存在になることを期待しています。

（報告：加藤）